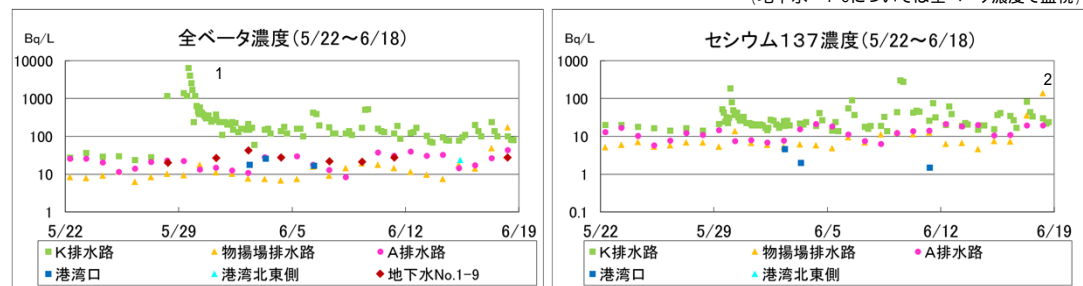


- 前回(5月28日公表)以降、「周辺の放射性物質の分析結果」および「日々の放射性物質の分析結果」のデータ約3,300件を公開しました。
- この間、5月29日に、1000tノッチタンクから3号機タービン建屋への移送ホースからの放射性物質を含む水の漏えいを確認しました。漏えい水はK排水路に流入し、C排水路を経由して港湾内に流入したと推定しています。
- この影響で、右の「A 水(海水、排水路、地下水等)」でお示している通り、K排水路で5月29日前後に全ベータ濃度の上昇が見られましたが、港湾口や港湾外では特別な上昇は見られていないことから、影響は港湾内にとどまっていると考えております。その後、漏えい前と変わらない濃度に低下しています。

## A 水(海水、排水路、地下水等)

・5/29に発生した漏えいの影響で、K排水路の全ベータ濃度に一時的に上昇が見られた。  
(地下水 1-9については全ベータ濃度で監視)

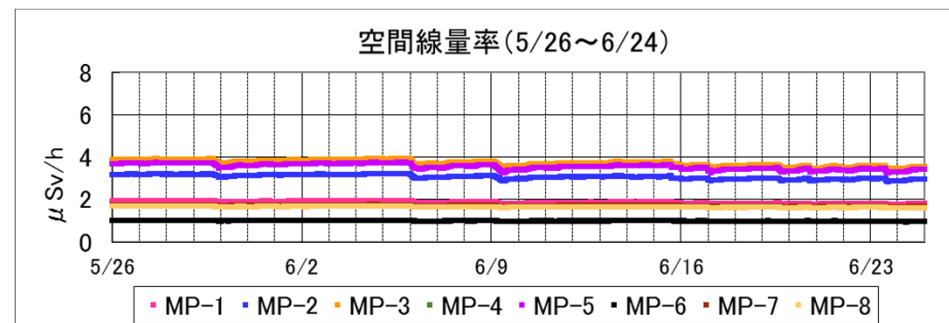


1 移送ホースからの漏えいによる影響(5/29 14:00採取分で6,600Bq/L)

2 物揚場流量計設置工事(6/4～)による影響(6/18 7:00採取分で140Bq/L)

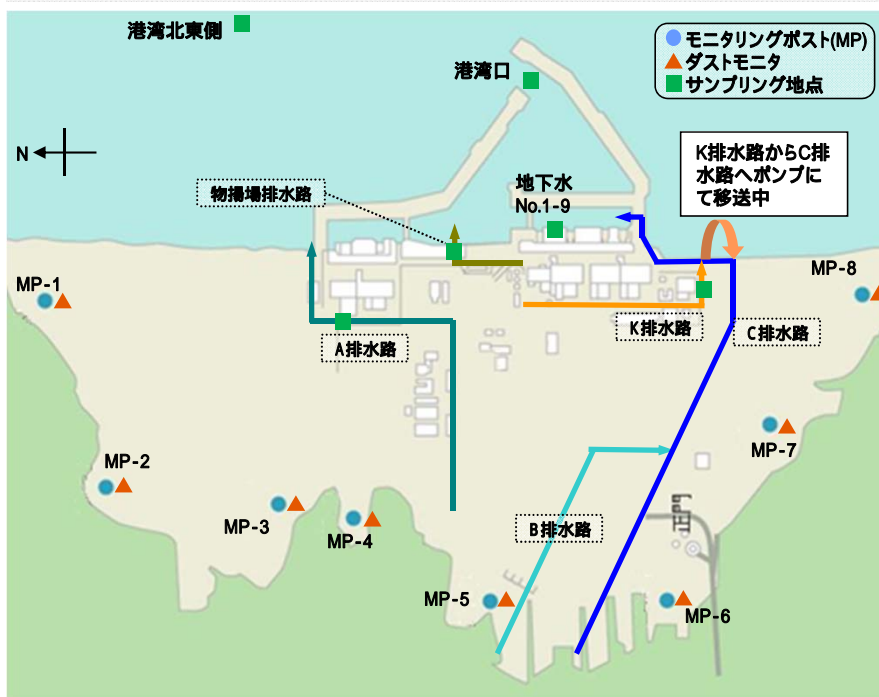
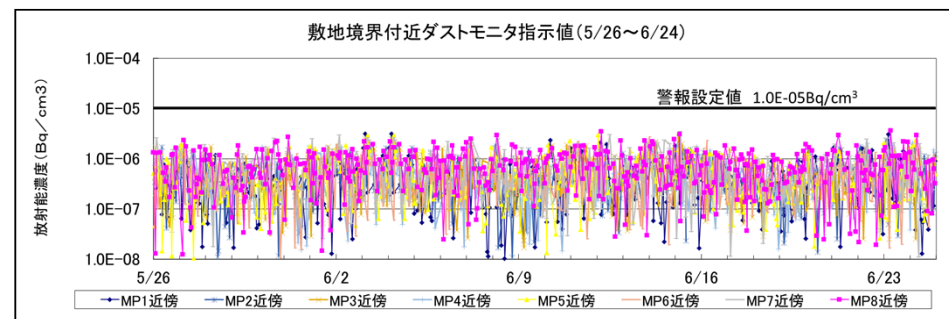
## B 空間線量率

・大きな変動はなく、低いレベルで安定。



## C 空気中の放射性物質

・大きな上昇はなく、低濃度で安定。



データ採取位置図(右のA、B、Cに対応するポイント)